

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人 ナカノ会	事業所名	ナカノ看護小規模多機能型居宅介護事業所
所在地	(〒890-0008) 鹿児島市伊敷3丁目14番8号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・利用者の状況に応じて医療・看護・介護の連携を図り迅速に対応することで利用者・家族の安心感に繋がっています。
- ・医療ニーズの高い利用者を介護と看護の両面からサポートし24時間、365日切れ目のない体制で安心して生活が送れるよう取り組んでいます。
- ・家族・医療、介護スタッフ間で利用者の情報共有を図るためにタイムライン形式による情報共有システム(MCS)を活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 2 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(27) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 12 日	出席人数 (合計)	(38) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (27人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (0人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2人) <input type="checkbox"/> 利用者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (人) <input type="checkbox"/> その他 (6人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>コロナの制限が緩和されていく状況に合わせて、事業継続計画に基づき、各自も目標設定に合わせて地域との連携を図り、院内外の研修から学びを深め質の向上を図る。</p> <p>29名登録数での稼働率95%維持を目標にしつつ、緊急対応としても運用に努める。</p>	<p>1年間の利用者実人数 31名 登録数 29名定員に対して平均 22.6名(1月末現在)で稼働(77%)昨年より20%減少あり。昨年度末にケアタウンにてコロナ感染が広がったが、一人もかけることなく終息し現在に至る。コロナの制限緩和によりご家族様の入室や利用者様外出、外泊も増え、コロナだけではなく流行性の病気が増えてきている中感染者出さず過ごせている。</p> <p>胃瘻造設者4名、インスリン、医療機関から紹介の終末期対象者のうち5名(1月末現在)をお看取りさせていただき医療機関からも上記の対象者の問い合わせなどいただく事例が増えている。</p>	<p>おおよそできている</p>	<p>稼働率減少は見られるものの、医療依存度の高い利用者は増加し対応できていると思う。</p> <p>コロナ制限緩和により家族入室、外出、外泊ができるようになり、家族の安心につながっているように思う。</p>

<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>利用者様及び家族の思いに合わせたサービスを実践し状態変化の情報共有(メール、MCS、請求業務ソフトによるサービス記録の情報)活用が効率的にできサービス提供できる</p>	<p>コロナの規制緩和によりご家族様の面会が再開され在宅での対応について、わかりやすい説明を心掛け、同意をいただきご家族の安心に繋げていくことができた。一方ツールが複数にわたり職員の負担や効率性には繋がらなかった。</p>	<p>おおよそできている</p>	<p>世間の状況下に合わせた対応がなされていると思う。 確かに ICT ツールが多く、どれが効率よく活用できるのかは今後どの事業所においても課題になるのかなと思います。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>利用者の状況に応じて適宜サービス関係者とカンファレンスを通して状況把握し全員が情報共有できる体制を強化する 24 時間緊急体制の連携をもとに予測した対応ができる。また緊急時連携シートを活用し適切な情報活用につなげていく。</p>	<p>事故発生時の初期対応についても各自が認識できご家族への信頼関係の構築に繋がっている。医師、看護師との 24 時間連携による体調変化時の相談、緊急時対応など実施でき、搬送時の詳細情報の連携シートの活用を行い、対応する事ができている。</p>	<p>おおよそできている</p>	<p>できていると思う。</p>

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>ホームページが完成し、地域へ情報発信していく。清掃活動は継続し、今後は地域活動へ積極的に参加を努めていく。</p>	<p>コロナの規制緩和により運営推進会議を2カ月に1回実施出来、活動内容などへのご意見やご助言をいただいた。 清掃活動は毎月2回行っている為継続し、ホームページと共に開設したInstagramの更新も行っていく。</p>	<p>おおよそできている</p>	<p>地域密着型サービスとして清掃活動を行うなど地域貢献につながっていると思います。 今後は地域活動に事業所として参加することでより地域との連携が図れるのではないかと思います</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<p>利用者様、ご家族のみならずスタッフ、地域の方々の信頼関係が更に深まるようにサービス提供する。回覧板の導入活用。</p>	<p>病状や生活状況など関係者からの都度の報告を行い、経過に不安なく、必要な情報をもとに本人家族が希望や意向をしっかり伝えられる仕組みづくりを意識しているが、回覧板については必要時に活用させていただいている。</p>			<p>おおよそできているとの評価が多くあり、事業所全体としての取り組みが良くなされていると思います。 回覧板についても活用していきます。 医療依存度の高い方も安心した療養生活の継続につながっていると思います。</p>

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 （評価項目 1～10）	<p>事業継続計画に基づき、各自も目標設定に合わせて地域との連携を図り、院内外の研修から学びを深め質の向上を図る。</p> <p>29名登録数での稼働率95%を目標にしつつ、緊急対応としても運用に努める。</p> <p>新規の利用者様だけではなくスタッフの質・ケアの向上、育成の面におけるの改革を取り入れていく</p>	<p>今後とも職員間の連携を深めると共に必要な研修を実施し質の高いサービス提供に努めていただきたい。</p> <p>コロナウィルス感染症の感染症法の取り扱いが5類へ移行され、他のウイルスも流行している中、在宅医療と地域との連携を図っていただきたい。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27）	<p>利用者様及び家族の思いに合わせたサービスを実践し状態変化の情報共有（メール、MCS、請求業務ソフトによるサービス記録の情報）活用が迅速かつ効率的にできサービス提供できる</p>	<p>SNSの活用を含め、多様なルールを用いて家族の安心感に繋がる対応をお願いしたい。</p>
	2. 多機関・多職種との連携 （評価項目 28～31）	<p>利用者様の状況に応じて適宜サービス関係者とカンファレンスを通して状況把握し全員が情報共有できる体制を強化する。</p> <p>24時間緊急体制の連携をもとに予測した対応ができる。</p> <p>多様なツールでの情報共有を行い、状態の把握、共有を素早く行い迅速で柔軟な対応を行う。</p>	<p>サービスの提供にあたって職員間の連携は極めて重要である。</p> <p>現在の取り組みを今後とも続けていただきたい。</p> <p>迅速な対応を期待している。</p> <p>詳細な状況報告を受けている。理解しやすい。</p>

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>ホームページやInstagramにて地域への情報発信を行う。清掃活動は継続し、実践できる地域活動への参加を検討していく。</p>	<p>伊敷支所に行ける方、HPが見られる環境にある方、Instagramを見ることができる方しか事業所の情報を確認できない可能性もある為、地域の方が集まる会等への参加や役割の周知ができれば地域の方の安心感にもつながるのではないかと思います。 おおよそできている。 定期的な地域清掃などありがたい。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<p>回覧板の導入活用し、利用者様、ご家族のみならずスタッフ、地域の方々の信頼関係が更に深まるようにサービス提供する。</p>	<p>実現できたら更なる信頼関係の構築につながると思います</p>	

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できて いない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		●			活動報告によるとおおよそできていると推測できる。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できて いない		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		●			<p>運営推進会議の雰囲気や報告内容などが要望や助言をいただきやすい内容となるよう検討されてもいいのではないのでしょうか。</p> <p>例えば報告書の中のこの点についてご要望、ご助言いただきたいと投げかけてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>2 か月ごとに運営推進会議において細かく説明を受けており、特に要望や助言はない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できて いない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		●			時短勤務の取入れや子育て中の職員への配慮等安心して働ける就業環境づくりにつながっていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		●			今後は災害時も想定した情報の整理、共有について進めていかれるとさらに良いかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できて いない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・天候、雪の日等状況に応じて出勤などの案内がある ・スタッフ任せになっている(指示がしっかり出ていない) ・夜間セキュリティあり 					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		●			その状況に応じて動けるか「不明」と感じる原因について精査し、次の訓練や研修の機会に生かすとよいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・BCP 作成されている ・災害時ケアマニュアルあるが見直しが必要 ・研修や訓練行われているが、その状況に応じて動けるか不明 ・雪や台風時も出勤している 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きてい ない	全く でき て い ない		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ご家族様の意向も踏まえて計画作成行えている ・ご家族様の意向を常に CM に報告行っている					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者様の状態確認を行いながら、過剰に介護を行わないように対応を行っている(計画作成できている)					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く でき てい ない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の計画書に今後起こりうることを予測しながら計画を立てている ・看護師はアセスメント、看護計画を立案している ・既往歴や ADL を踏まえて計画作成されている ・常に状況が変化するため計画が追いついていない(状況対応行っている) 							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化があった場合すぐに担当者会議を行い新しくサービスを考え提供行っている ・状態変化に合わせ修正されている 							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く でき ていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		●			しっかりと役割分担できていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く でき ていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できて いない		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			おおよそできている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・理解と了承を得て必要時サインをいただいている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		●			おおよそできている	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ご家族様が行うケアが少なく、外出時など移乗移動方法は説明行えている					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		●			おおよそできている。 利用者家族の方も安心している様子である。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・必ず本人、家族の意向に沿って提供している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そで きてい る	あまり で きてい ない	全 く で き て い ない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		●			おおよそできている	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医師からのご意見を伺いながら話し合いを行っている					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		●			ご家族へも説明することでご家族の看取りへの心の準備グリーフケアにつながっていると思います。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本人の状況を見てパンフレットを用い家族が焦ったりしないようあらかじめ説明を行っている ・症状を見ながらタイミングを逃さないよう看取りパンフレットを用いて家族へ病状、今後起こりうることなど説明している。その後も家族の反応今後の希望などを記録へ書くようにしている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く でき ていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		●			おおよそできている	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・外部主治医などその都度変化があれば病院医師、看護師と連携をとり対応している					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		●			詳細な状況報告を受けている。理解しやすい。 ・2 か月に 1 回の運営推進会議にて状況報告を行い情報提供を行っている	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよ そ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		●			おおよそできている	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・月1回のミーティングにて報告があるのみ ・PCメールにて会議記録を流している					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		●			伊敷支所に行ける方、HPが見られる環境にある方、Instagramを見ることができる方しか事業所の情報を確認できない可能性もある為、地域の方が集まる会等への参加や役割の周知ができれば地域の方の安心感にもつながるのではないかと思います。 おおよそできている。 定期的な地域清掃などありがたい。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・地域清掃など定期的に継続して実施している ・伊敷支所にてCMが流れている ・ネットでHP、Instagram更新している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く でき てい ない		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		●			おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	●				おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり でき て い な い	全 く でき て い な い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている				●	鼻マスクはできる 非侵襲に限り対応は可能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	●				おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		●			勉強不足な部分について具体的な内容を教えていただけると地域ケア会議などで対応できるかもしれません。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		●			課題が残ると思う	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く でき てい ない		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		●			おおよそできている。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議を通じて課題や改善策の提案を行っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		●			地域の人ももっと理解するように努力したい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・近隣住人への取り組みは不十分					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>1. 毎月評価し目標の達成できている</p> <p>2. おおよそできている</p>	おおよそできている	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く でき てい ない		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感							
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 1. 診療と情報共有し24時間体制で対応利用者やその家族は安心感が得られていると思う 2. おおよそできている	医療依存度の高い方も安心した療養生活の継続につながっていると思います。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します			
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 1. その都度思いを傾聴し状態に応じて状況を説明している 2. おおよそできている	おおよそできている	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」			

